

人気連載ついに再開!「キン肉マンII世」完全復活!

WEEKLY O

誌上対決!男の定番デジモノ「どっちを買いまSHOW!!」



アビバ

¥340

11・16 No.46 特大号

[表紙&巻頭グラビア]

No.1美少女の限界水着

相武紗季

平田裕香 欲情の黒ビキニ

ダブルで衝撃!

「笑っていいとも!」美女初セクシー&
元「恋のから騒ぎ」娘衝撃ヌード

たかが38周年!

創刊月間

SPECIAL THANKS!

ついにラストだ!
10週連続応募者
第2弾—全員サービス

特大ポスター
クリアファイル
携帯ストラップ

キミの馬券買いは間違いだらけ?

3連単は

ジョッキーで選べ!

絶体絶命のときに
唄いたい歌
ベスト10

独占!
人気女子アナ
大橋未歩

2大インタビュー

佐藤琢磨&柳沢敦

奇跡のテクニック!
手コキ女王
たちの
カリスマ性技

次は東海
巨大
地震か?

9月の浅間山、紀伊半島沖、
10月の茨城県南部、
そして新潟県中越……

多発する大地震
「連鎖の法則」が
見つかった!

「エロ袋」があの名作に挑む!

シベリア超特急・欲望列車

紋舞らん/早坂ひとみ/小沢菜穂/夢野まりあ

緊急リサーチ

プロ野球 「球界を変えた男」1位は古田?
三木谷?それともホリエモン?

大変革MVPは誰だ!

事件ジャーナリスト黒木昭雄
「怒濤の追及シリーズ」
第4弾!



くろき あきお ●元警視庁巡査部長。57年生まれ。23年間の在職中に総監賞を23回受けるも、警察組織のあり方に疑問を抱き、99年に依頼退職。「警察ジャーナリスト」として幅広いジャンルのテーマに取り組み活躍中。近著に『葬式の儀式にはウラがある』(草思社)

野放しにされた天風呂が盗撮露天風呂が露天風呂が盗撮放しにされたいる!

犯罪性は明らかなのに、なぜか温泉も行政も「知らん顔」…。

盗撮の告発を握り潰した!?

本誌で、これまで2回にわたり、関西地方を中心暗躍する盗撮モノAVの制作グループの実態を追ってきた。

そしてその過程で、いわゆる女風呂盗撮モノのAVを作成するため、温泉や公衆の入浴施設もその舞台になつてゐるという実態も明らかになつた。

元警察官として、このような犯罪を野放しにしておくわ

けにはいかない。そこで、盗撮現場となつてゐる入浴施設を特定する作業を試みた。

盗撮映像の背後にかすかに映る看板や内装、壁などに描かれた図柄などの特徴を分析し、実在する施設のリーフレットなどと照合すれば(198ページおよび199ページの写真参照)、これらの映像が「作り物」ではなく、本当に実在する入浴施設で盗撮されているという証明になるからだ。

結果、特定できた施設は、関西圏だけでも10軒を下らない。元警察官として、このよう

な協力を申し出てくれたのか。動機を知り仰天した。

平松氏が憤りながら語る。

「2年半前のことになりま

す。あるクライアントからの情報を受け、和歌山県内に

ある『K温泉』という施設で盗撮が行なわれていたことを

突き止めました。そこで和歌

山県警本部の生活安全課に出向き、捜査してもらえるよう

要請しました。ところが鼻で

あしらわれたあげく、結果的

セルビデオ店やインターネットなどで販売されている「温泉盗撮モノ」と呼ばれるジャンルのシロモノ。この犯罪的AVを取材すると、警察が「検査を怠つていいのではないか」という疑いだけでなく、その背景に潜む警察と企業の「癒着」疑惑までもが急浮上した!

かったのだが、この大変な労力を要する作業に積極的に協力してくれた方々がいる。

和歌山県にある『平松総合調査事務所』社長・平松直哉氏と、『松本探偵事務所』代表・松本敬介氏だ。

なぜ協力を申し出てくれたのか。動機を知り仰天した。

平松氏が憤りながら語る。

「2年半前のことになりま

す。あるクライアントからの情報を受け、和歌山県内に

ある『K温泉』という施設で盗撮が行なわれていたことを

突き止めました。そこで和歌

山県警本部の生活安全課に出向き、捜査してもらえた

に我々の告発も握り潰されてしまつたんです。後に県警関係者から聞いた話によると、どうやらK温泉を経営する『P社』側が、その親会社である『M興産』に天下つて県警に圧力をかけ、事実隠蔽に走つたらしいのです」

にわかには信じがたい話である。県警の上級幹部が退職後、地元企業に天下るという話は、「警察を知る人間」にとつては「常識」である。だまされか、その「元警察官」と警察組織がグルになり「犯罪隠し」に走るなんて…。

この時は、私自身も後に、平松氏らと同じように、「事件のもみ消し」ともどれる威圧的な扱いを警察から受けることになるとは知る由もなかつた…。

「証拠」を携え、盗撮現場を歩いてみると…

「これは、確かにうち(の浴



場)ですね。今でも(このビデオが)売られてるということですか?」

盗撮現場を特定した「証拠資料」に、別に驚くふうでもなく冷静に言葉を選ぶのは、平松氏の話の中に出てきたK温泉を経営するP社の営業部長N氏である。

P社を訪ねた私は、ある盗撮ビデオに録画されている入浴施設がK温泉と酷似していることを指摘し、女性客が盗撮被害を受けていたのではないかと質した。

そして、応対したN氏は、

*右のパッケージ及び画像は、あくまでイメージでありません
の本文とは直接関係ありません

「2年半前に盗撮騒ぎがあつて警察に相談したことがあります。その後、犯人は捕まつたと聞いていたのですが、まだ（盗撮が）続いていたと知り憤慨しています。倫理上、許せないことで、もちろん、今回も警察に話しに行くでしょ？」

電話の主は、和歌山県警時代に所轄署長も経験し、退職した現在、P社の親会社であるM興産に勤務している（つまり、天下っている）というI氏である。ちなみに、M興産での肩書きは、「総務部涉外担当理事」とのこと。

I氏は電話の向こうでこう語った。

「盗撮の問題は承知しています。昨年の7月頃だったと思いまが、大阪府警南署の警察官が、あなたがお持ちのようない（ビデオ）を持ってきました。府警が（盗撮）ビデオを押収し、捜査中だといふことだそうです」

ところが、続けて語られるI氏の答えはなんとも誠意に欠けるとしか言いようがない

この発言も実は大ウソであることことが後に判明することにものだった。

なるが（詳細は後述する）、物腰柔らかく丁寧な言い回しで、すでに警察が捜査に動いているとI氏は強調する。

ならば捜査の状況は現在どうなっているのか？という趣旨の質問を向けると、それまでの穏やかな言葉遣いとは明らかに変わった態度で、こう言うではないか！

「あなたは警視庁出身ですねえ。じゃあ、警視庁に告発するんですか？ それでも、うちはいいんですよ」

面白いことを言うものだ。捜査機関に告発するために取材を始めたわけではない。

盗撮された女性たちとともに、ある意味「被害者」の立場にあるK温泉に、盗撮の被害実態を説明して警鐘を鳴らしつつ、また、企業責任として盗撮にどのような対策をとっているのかを聞きたかったのだ。現に、K温泉で撮影され次々と作られ販売されている。

「以前、平松さんという探偵が盗撮対策用品を買ってくれました。私たちはそこまでする必要はない」と断りました。

「ふざけたこと言いますね。私はK温泉を訪ねたことなど一度もありませんよ！」

事件に乗じて盗撮対策グッズを押し売りしようとする「悪徳探偵社」のように語るでは企業の発想ではないか？

もちろん、すべての浴場施設がこのような対応だったわけではない。同じく和歌山県内の温泉施設の経営責任者S氏のように、提示した資料に真剣に目を通し、私の話にもきちんと対策を練らなければなりません。



和歌山県内にある入浴施設「X」のリーフレット(上)と、ある「温泉盗撮モノ」の画像(左上)を分析し照らし合わせてみると、風呂場にある照明器具のように様々な共通点が浮かび上がり、盗撮モノの現場であろうとほぼ特定できる

するとなかには、盗撮の被害にあった女性客が聞いたら激怒するようなことを平然と語るところもあった。

やはり和歌山県にある入浴施設「X」で、取材に応じた課長のK氏は平然とこう言つてのけた。

「これは、撮る者と撮られる者が仕組んだ『ヤラセ』で、うちは場所を利用されただけだと認識しています。まったく知らない人が見れば盗撮に見えるかもしれませんね」

まるで想定文を棒読みしているような言い方である。そこには、客を盗撮被害から守ろうという意識など微塵も感覚はない。

後日、平松氏に、I氏の言ふことは事実なのかと確認すると、平松氏は激昂して、こう言つた。

「ふざけたこと言いますね。私はK温泉を訪ねたことなど一度もありませんよ！」

警察と天下り先の “甘い関係”を推理する!!

ところで、今回、K温泉以外にも、盗撮が行なわれたと思われる浴場施設を取りし、「証拠」の資料を見せてみた。

ばならないと語る“良心的”

のであろうか？

彼は顔をしかめ、こんな本とろとろと音を吐露した。

人間だ』とハツキリ認めてい
る。

に対しちゃんとした取り組みをしているのであろうか？

受け取つてから取材を受ける
か否かを決めますがね」

浴場施設が一枚岩となつて盗撮被害への対策をとれないも

「不景気でどこも経営が大変です。そこに悪い噂が流れ、さらに客足が落ちたら…。私ものところも、今よりお客様が2割^{おそ}でも減れば経営困難に陥るでしょうね」

少し脇道にそれたが、話を元に戻そう。

本当にM興産の日本
が語るように、K温泉の盗撮
事件に関し、昨年の7月から

右ページの写真と同じく、和歌山県内の入浴施設『K大阪』のリーフレット(左)と、ある盗撮AVの画面(上)に映されている石灯籠および手すりの位置を見比べると、やはりここが盗撮モノの現場だろうとしか思えない。通説が浮かんでくる。



M興産は、全国的に名の知れた大企業であり、関西圏の警察の大口の“天下り先”でもある。実際、I氏も“自分は和歌山県警からの天下りの

一 南署は確認したか そのよ
うな事件は扱っていないとい
うことです」
だが、I氏は確かに大阪府
警南署が捜査中だと語ったの
だ。あの言葉はウソだつたの
か。ならばなぜI氏は、こん
な子供でも簡単に見抜けるウ
ソをついたのか?

M興産は、全国的に名の知れた大企業であり、関西圏の警察の大口の“天下り先”である。実際、I氏も“自分

実だとしたら、和歌山県警と天下り先企業によるどんでもない癒着の構図が成り立つことになる。

んですか？ だつたらまずFAXで（質問項目などをまとめて）企画書を出してもらうという方法もあるんですけど。もつとも、我々はそれを

「でもらえは、ものすごくバカげた話だ。警察官たる者、犯罪捜査のためならどんな些細な情報でもつかもうと努力するものだ！」

しまいに〇氏は、こんなことまで言い出した。

「黒木さん、どうするつもりなんですか？」これは取材的な

通してつかんだ“盗撮の現場”的実態について、捜査当局者からその詳細を聞き出そうとするようなことは一度もなかつた。

元・和歌山県警本部に出向いた。応対したのは広報室長のK氏だ。監視、O氏と警部のK氏だ。ところが40分もの間、雑談ともつかない話は進まない。やがて、

なく、捜査に取り組むこともないのであれば、明らかな職務放棄であり、県民に対する重大な裏切り行為であると断言できる！

に対して、真剣に捜査に取り組む気はあるのか？ あるのだとしたら、具体的に、どのように取り組むのか？

2、広報室のふたりの警官は、なぜ、私に資料の提出を求めるなど、積極的に捜査に努めなかつたのか？

と言えるものだつた。
その後、彼らが要求する
“企画書”なるものは送つて
いない。代わりに、この誌面
をもつて公開質問状とさせて
いただく。

この、鼻であしらうような
対応こそ、まさに前に平松
氏が2年半前に経験した“事
件の握り潰し”の構図の再現
こえた。